



2009年度ゼミ(研究演習)所属の確定

第二学年の秋学期開始とともに始まりましたゼミ募集が終了しました。商学部では、第三学年時に「研究演習Ⅰ」、第四学年時に「研究演習Ⅱ」を設置しています。これらは、いずれも少人数教育による教員と学生の膝をつき合わせた議論の場を提供し、より深い専門知識を身につけることを目的としています。特に「研究演習Ⅱ」では、4年間の学習の集大成である卒業論文の指導が行われます。1年生の皆さんは、今のうちから講義を通じて各コースや専門分野の特徴を把握しておきましょう。

卒業論文締め切り

今年度の卒業論文の提出が2009年1月9日(金)16:50をもって、締め切られました。卒業論文を無事提出された4年生の皆さん、お疲れ様でした。現在研究演習Ⅰに所属している人は、4年間の集大成として何を卒業論文のテーマとして設定するのか、今のうちから学習計画を立てておきましょう。もちろん、教員や友人の意見を大いに参考にしてください。

秋学期定期試験の開始

今年度の秋学期定期試験が、2009年1月16日(金)~29日(木)にかけて行われます。悪い風邪や麻疹などの影響も考えられますので、この間、健康には十分留意し、万全の体制で試験に臨んでください。また、当然のことながら、フェアな精神で試験に臨んでください。

今年度もキャンドルナイト実施

商学部では、12月10日(水)、11日(木)、12日(金)に西宮上ヶ原キャンパス内にろうそくを

灯す「キャンドルナイト」を開催しました。開催日には、中央芝生から商学部前広場までの通路がペットボトルで作ったキャンドル700個以上で彩られ、たくさんの学生が美しいキャンドルの光に目を止めました。キャンドルナイトのテーマは、「電気を消して、スローな夜を…」です。このイベントは、ペットボトルの分別回収、裏紙の再利用や冷暖房温度の適正化など、個人がエコロジーを考える機会になることを目的として昨年に引き続き行われたものです。なお、実施主体は商学部内の「エコ・キャンパス委員会」です。今後も学生による積極的な活動が期待されています。



私の薦めるこの一冊 石原 武政 教授

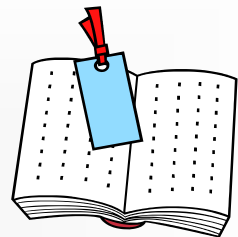
辻 信一『幸せって、なんだっけ

—「豊かさ」という幻想を超えて—』

(ソフトバンク新書、2008年) 767円

豊かさを求め、経済成長に最大の価値をおいて突っ走ってきた戦後。それで私たちは本当に幸せになったのだろうか。社会はどこかギスギスしている。しかも地球環境への負荷は耐えられないほど高まっている。私たちは価値観を変

え、暮らし方を変えなければならないのではないのか。そんなことをソフトに語りかけている。とても読みやすい本なので、ぜひ一度読んで、自分自身の問題として考えて欲しい。



❁ Business Wings 発刊迫る！

商学部では毎年卒業式にあわせて3月に Business Wings という機関誌を発行しています。この雑誌の記事の収集などは主にゼミから選出された Business Wings 編集委員の学生の皆さんが行っており、「学生の学生による学生のための雑誌」です。この雑誌には2008年度の卒業論文のすべてのタイトル一覧と、各ゼミから選出された優秀論文の要旨が掲載されます。また、2008年度に開催された学術講演会の要旨や、さまざまな分野で活躍されている学生の皆さんや卒業生の方々からの寄稿、教員の顔写真とメッセージなども掲載されており話題も豊富です。是非ご一読ください。

教員の著書・出版

藤沢 武史 教授

共編著『サービス産業の国際展開』
(中央経済社)

定価3,200円税別、2008年12月15日付け出版

教員の受賞

伊藤 秀和 准教授

論文『荷主行動から見た港湾物流構造の比較分析—日本と中国を中心に—』により、日本海運経済学会から「日本海運経済学会平成20年度国際交流賞」を受賞されました。

大日向 幻 教授ご逝去



11月22日(土)大日向幻教授がご逝去されました。大日向教授は、イギリス文学を中心としたご研究を重ねてこられ、2001年からは日本英詩協会会長を務められるなど、多くのご業績を残されました。また、教育面はもとより、行政面でも1990年度~1991年度にかけて関西学院大学学生副部長、1996年度~1997年度には言語教育センター(1997年度より言語教育研究センターに名称変更)副長などを歴任されました。大日向教授の多大なるご尽力に感謝するとともに、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

教員紹介



小菅 正伸 教授

中学部から大学院までの15年、教員となって26年、ずっと上ヶ原生活です。授業担当は原価計算論ですが、研究テーマは「経営を支援する会計」(管理会計)で、戦略管理会計やビジネス・プロセス・マネジメント、予算管理などを研究しています。最近では日韓企業の調査研究に取り組んでいます。現在、大学の入試部長、学外では公認会計士試験の試験委員、関西経営品質賞の判定委員などを務めています。東奔西走の状態のため自由な時間がほとんどなく、学生諸君には迷惑をかけています。常に「為せば成る！」を信条として頑張っています。



岩松 正洋 准教授

私はパリ第4大学の比較文学科で、小説理論と現代小説について研究し、博士号を取得しました。メタフィクションやマジックリアリズムといった小説形式について、理論的な研究をしています。本学部では、2003年度以降、フランス語を担当してきました。現在は1年生の文法の授業(フランス語初級I・読解)を受け持っています。初めて学ぶ外国語は、なにかとわからないことばかりで、不安なことと思いますが、まず「自分が、なにをわかっていないのか」を理解し、把握することが大事。教員の仕事は、その手助けをすることと考えます。

